



令和5年度

太田小だより 6月号

【学校教育目標】

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

さいたま市立太田小学校
 令和5年5月25日（木）発行
 全校児童数576人



住所 さいたま市岩槻区仲町 1-17-3
 電話 048-756-0515
 FAX 048-758-7487
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



6月「いじめ撲滅強化月間」

校長 田波 巨士

風薫る5月。夏も近づく5月です。立夏を過ぎて初夏を迎え、気持ちのよい風を感じる季節です。とはいうものの、5月中旬には都心でも30℃を超える真夏日が2日連続して続きました。5月に連続して真夏日が続くというのは4年振りで、5月中旬という時期に限ると観測史上初めてのことだそうです。そのような暑い中ではありますが、熱中症に留意しながら、子どもたちは5/27（土）開催の運動会に向けて、元気よく一生懸命練習に取り組んでいます。かわいらしい低学年、元気いっぱいな中学年、力強く迫力ある高学年とそれぞれの学年の実態に応じ、工夫を凝らした競技・演技を行います。また、開閉会式の司会進行、応援合戦、6年生の鼓笛隊など、練習を重ねるごとに上達しており、私も運動会がとても楽しみです。当日は、ぜひ学校にいらして子どもたちへの応援をよろしくお願いいたします。

さて、さいたま市では、6月を「いじめ撲滅強化月間」と定め、いじめ撲滅に向けた市全体の機運を高め、いじめの防止等のための対策について総合的かつ効果的に推進しています。この時期は、児童生徒が内面にストレスを抱え込みやすく、理由もなく不安になったり落ち込んだりし、衝動的な行動が増える傾向が見られます。また、いじめの認知件数が増加してくる時期でもあります。本校においても、「太田小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを許さない集団づくり、いじめが起きない学校づくりに努めています。校長講話、代表委員会によるいじめの未然防止に係るスローガンの作成、いじめの問題を扱った道徳の授業、心と生活のアンケートをもとにした児童への面談・教育相談など計画的に実施し、いじめの未然防止、いじめの早期発見・早期対応の一層の充実を図ってまいります。

私はいじめ問題のことを考える際、いつも一冊の本のことを思い出します。「わたしのいもうと」という本です。この本は、作者の松谷みよ子さんに届いた手紙に書いてあった実話をもとに作られた絵本です。

――7年前、妹が小学校4年生のときに、転校先の学校ではじまったいじめ。ことばがおかしいといじめられ、とびばこができないと笑われ・・・やがてクラスみんなは、妹が給食で配ったものを受け取ってくれなくなり、ついにだれも妹と口をきいてくれなくなりました。学校へ行かなくなった妹は、かたく心を閉ざしてしまいます。ついには食事をとらなくなり、やせおとろえてしまいます。お母さんがスープを口に流し込み、なんとか命をとりとめた妹でしたが、中学生になっても、高校生になっても、部屋に閉じこもったまま。窓から同級生たちの楽しそうに登校する声が聞こえる部屋で、なにかをするでもなく、だまってどこかを見つめる毎日が、ゆっくりと流れていきました。そして、そんな日が続いていくかと思われたある日、物語は妹がひっそりと命を落とす場面で終わります。

衝撃的な内容に、私は一度読んで忘れられなくなりました。胸が締め付けられるようでした。いじめをした人は、ほとんどの人が「ふざけていた」「冗談だった」とか「いじめているつもりはなかった」と言います。でも、「いじめ」をされると、しゃべることができなくなり、御飯を食べられなくなり、胸が苦しくなってしまうことが本当にあるのです。いじめは、ぜったいに、許されないことです。いじめとは、その人がされたら嫌なことをすることです。どんな理由であれ、その子がされたら嫌なことをしてはいけません。これは当たり前のことです。みんなで心をつなげて、太田小学校を「いじめをしない、させない、許さない」学校にしていきたいと思います。